文化

特の眼差し――タ
の対象ではなく、
自分の内部に育つ
時間だけを注視し
ているような眼差
し――を持つので
ある。
この絵の衝撃を
理解するには、画
家としてのゴヤの
歩みがどういうも

人間の歴史に終わりな
ない。しかしその終わり
なき歴史の向こうに、な
お、拡がる広大な空間が
ある。宇宙感覚は、遠い
ノスタルジーのようにそ
の拡がりを夢見るのだ。
（一八二五―二七年、油
彩・カンバス、七四×六
八センチ、マドリード、プラ
ド美術館蔵）

知られざるジャズの誤訳

◇スタンダード800曲を解釈、歌詞の正確な理解願う◇

村尾陸男

「恋は苦しくつらいことも多い。〝でも美しい〟んです」。ジャズ好きの人なら、歌手がこう解説して「バット・ビューティフル（But Beautiful）」を歌う場面を目にしたことがあるだろう。

だが、これは誤訳。「恋は楽しかったり悲しかったり、静かだったり激しかったり……。〝でも、いいのよそれで〟」と歌っているのだ。ここで言うビューティフルは〝美しい〟ではなく、〝いいの〟〝そうだ〟といった、肯定のイエスの意味だ。

〜〜〜

曲の全体像解き明かす

英語の歌詞をきちんと知って欲しい、そんな願いからジャズのスタンダード曲の歌詞を解釈する「ジャズ詩大全」（中央アート出版社）という本を一九九〇年から書き続けている。本業のジャズ・ピアニストの傍ら、すでに十八巻、別巻を合わせて二十冊を書き上げた。歌詞の意味の解釈を主題にしたものだが、曲が生まれた経緯、作詞・作曲家の経歴などを紹介し、欲張っていえばその曲の全体像を解き明かすことを目指している。

七〇年代半ばのことだった。東京・新宿のジャズクラブで共演した日本の女性歌手が「ムーンライト・セービング・タイム」という曲を歌った。米国人ならば題名を聞いた途端、ニヤッと笑みを浮かべるだろう。時刻を早める夏時間を米国では「デイライト・セービング・タイム」と言い、これをもじっているのだ。つまり「月が出ている時間を無駄にせず、恋人に愛をささやこう」というラブソングだ。

終演後、彼女にその意味を知っているか尋ねたところ、「知らない。そうだったの」と教えてもらったことを無邪気に喜んだ。恐らく歌手だけでなく伴奏者も、お客さんも歌詞の本当の意味を分かっていない。それを一生の仕事にしてしまったことがつらく思えてきた。日本の歌手の英語歌詞は聞きづらいと私自身、彼らの表現にあまり関心を持ち合わせていなかった反省もあった。このままで良いのか。

しばらくして一週間に一度、希望する歌手たちを集めて「英詩解釈教室」を始めた。当時、私は音楽書の翻訳も手がけており、ひょんなことから出版社の社長が英詩解釈に興味を示し、本を出版する話に発展した。

〜〜〜

独学で英語を習得

私は大学を中退してミュージシャンになった後、父の仕事を手伝うために一年間、米国に滞在したことがある。だが、テレビやラジオから流れる言葉がさっぱり聞き取れない。それが刺激になり、帰国後、英語を猛勉強した。本を読んだり、映画やニュース番組を見たり。英語漬けの日々を送り、独学で習得した。

張り切って本の執筆を始めたものの、最初は資料も自分の知識も不足して難航した。スタンダード曲は主に一九二〇―六〇年代に書かれているが、その時代の流行語や俗語も多く、英米人でも年配者でないと分からない表現がある。また、日本で間違って訳され浸透した歌も多い。

例えば映画「カサブランカ」の主題歌としてもおなじみの「アズ・タイム・ゴーズ・バイ（As Time Goes By）」。「時の過ぎゆくままに」と邦題があるが、この訳も「時がたっても」という方がふさわしい。「宇宙旅行が現実のものになってきたけど、どんなに時代が変わろうと、人はアイ・ラブ・ユーとささやくのさ」という内容の歌詞で、ここで言うアズは〝ままに〟という意味ではない。

こうした例は枚挙にいとまがない。学校で英語を習うとビューティフルを〝美しい〟、アズを〝まに〟と訳すのは普通で、私もそういう教育を受けてきた。米国人の友人と話しているうちに、間違いに気付くようになっただけのことだ。

〜〜〜

歌詞の流れを重視

作詞・作曲家のコール・ポーターは、造語やわざとなまりのある歌詞を書いた。例えばローズマリー・クルーニーが歌った「イッツ・デ・ラブリー」は、デラックスという言葉をまねてラブリーにdeを付けて強調した。

行き詰まると、ニューヨークっ子の歌手ドリィ・ベイカーさんら年長の英米人に助けを求めたものだ。私の場合、一つ一つの単語をきっちり訳すのではなく、歌詞の流れがきれいで、意味がストンと心に入ってくる日本語訳を心掛けている。

本場米国では下降線をたどっているジャズ人気は日本ではいまだ健在。音楽そのものへの関心は高いのに、誤訳や誤解がそのままになっているのは残念だ。すでに約八百曲を取り上げ、残り三冊を仕上げて完結したいと思っている。発行部数は多くないが、英語の歌詞の意味を正確に理解するよすがとなり、日本や米国の文化、日本の英語教育について考えるきっかけにしてもらえればうれしい。（むらお・りくお＝ジャズ・ピアニスト）

喪友記

ピアニストの園田高弘先生と最初に出会ったのは一九九二年。ベートーヴェンの「皇帝」で共演した。すばらしく音がきれいで力強い演奏は、たちまち聴き手を引き込む説得力があった。厳格な方と聞いていた

む

究者

郎

を務めた九州交響楽団を選んでくれた。

演奏は作曲家の意図に近づくことだけを考え、妥協を許さない厳しさを持っていた。ある演奏会の後に「二人でパーティーをやろう」と誘われて楽しみにしてホテルの部屋を訪ねると、たちまち「あそこはこうしたか